

和光市 報道発表資料 令和2年8月5日

タイトル	「77億人えがおプロジェクト」への作品募集
いつ 実施日時	令和2年8月8日（土）～令和2年9月4日（金）
どこで 会場・開催地等	「コロナと闘う応援村」参加自治体 （埼玉県内では和光市のみ参加）
だれが 主催者・関係者	主催 「コロナと闘う応援村」実行委員会 後援 みずほ銀行 J Coin-Pay
なにを 事業内容など	・子どもたちが描いた笑顔のイラストを募集し、応援村公式ソング「守ってあげたい」（作詞・作曲 松任谷由実／編曲 松任谷正隆）と共に編集し、一般公開する（YouTube、Instagram、Twitter等）。 応募のあったすべてのイラストが採用され、応援村公式ソングに載せてYouTube、Instagram、Twitter等で一般公開される。（R2.11頃を予定）
なぜ 目的・理由	「ソーシャルディスタンス」で物理的距離が生じ、人と人がすれ違う時、なんだか怪訝な顔をしながらすれ違う日々。そんな、「新しい日常」で生じてしまった心の距離を埋めるため、子どもたちと一緒に笑顔を増やす取組を実施。 『ソーシャルディスタンスで離れた距離だけ、笑顔で』。この言葉をキャッチコピーに、未来を担う子どもたちの沢山の笑顔を、歌と共に未来へ届ける。
どうした 経緯・経過	全国各地の様々な地域で懸命に生きる人たちを応援する「応援村」において、地域活性化・コミュニティの再生（人を孤独にしない）という応援村の社会的使命と役割を果たすため、自治体首長が中心となり「コロナと闘う応援村」実行委員会を組成（令和2年5月18日）。 同実行委員の松任谷正隆氏・小山薫堂氏と賛同自治体（鈴木三重県知事・鈴木浜松市長・門川京都市長等）が中心となり、公民連携「77億人えがおプロジェクト」など具体的な取組を推進している。
金額	なし

<p>そ の 他</p>	<p><応募方法></p> <p>※和光市では市内在住の小学校3年生までの子どもたちを対象に募集</p> <p>【画像データによる提出】</p> <p>「応援村」HP 「応募フォーム」へ直接申し込み</p> <p>【現物による提出】</p> <p>和光市秘書広報課宛てに郵送もしくは持参 (持参は感染症予防のため、できる限りお避けいただく)</p> <p>※詳しくは市ホームページをご覧ください</p> <p><参考/和光市加入経緯></p> <p>R2.3.23</p> <p>「コロナと闘う応援村」実行委員会 立ち上げ宣言 (和光市未加入)</p> <p>R2.5.16 第1回首長説明会 ※和光市長オブザーバーとして参加</p> <p>R2.5.18 「コロナと闘う応援村」実行委員会 組成</p> <p>R2.6.2 事務局へ就任承諾書提出→受理 ※埼玉県内は和光市のみ</p> <p>R2.7.18 第2回首長説明会 和光市長参加</p>
<p>問い合わせ先 担当課</p>	<p>課 名 秘書広報課</p> <p>氏 名 課長 松戸 克彦</p> <p>電 話 048-464-1111 (内線2314)</p>